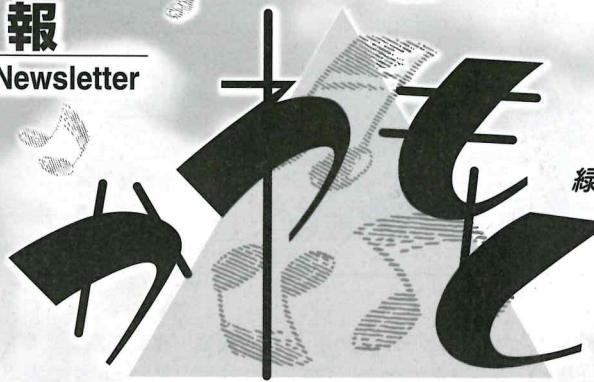


広報

Town Newsletter



緑にこだます音楽の里

2009

4

April No.456

平成21年

<http://www.kawamoto-town.jp/>

ホームページでは、カラー写真で記事をご覧いただくことができます。

夢と希望を膨らませ
（ひざ）…

新生活の始まる春が川本町にもやってきました。

4月9日。町内3小学校・中学校・高等学校で入学式が行われました。

小学校では、3校総勢24人の新一年生が誕生しました。小さな体に、大きなピカピカのランドセル、新しい制服に身を包んだ子ども達に、見守る大人も満面の笑みでした。
また、中学校には24人の新一年生が誕生しました。勉強に部活動・新しい友達との出会いなど、夢は膨らむばかり。また、島根中央高校には、85人の新一年生。全員一区の高校には、県内各地から生徒が集まりました。子ども達が大きく成長する姿を、地域のみんなで見守っていきましょう。
大きく羽ばたけ
一年生！



川本西小学校



三原小学校



川本小学校



かわもと

お知らせ

きびしい財政事情の中、経費節減のため、限られたスペースではございますが、「広報 かわもと」の紙面に併せて掲載することといたしましたのでご理解を賜りますようお願いします。

No.89

発行
島根県邑智郡川本町川本
川本町議会
TEL(0855)72-0068(専用)
FAX(0855)72-0635
⑨696-8501
編集 議会広報委員会
印刷 佐々木印刷株式会社
発行日 平成21年4月20日

平成21年度一般会計 当初予算30億7千039万5千円

前年度対比3.2%増額の緊縮予算継続

平成21年度特別会計予算

川本町住宅新築資金等貸付事業特別会計	5万円
川本町国民健康保険事業特別会計	5億6千164万0千円
川本町老人保健事業特別会計	601万4千円
川本町後期高齢者医療特別会計	1億2千161万0千円
川本町簡易水道事業特別会計	1億2千407万9千円
川本町農業集落排水処理事業特別会計	1億1千410万9千円

こんな議案を 審議しました

平成21年第1回川本町定例会が
3月6日から12日までの7日間、
開催されました。

はじめに樋口町長の施政方針が
発表され、条例案件14件、予算案
件11件、人事案件1件、その他案
件2件の28議案が提案され、審議
の結果、原案どおり可決しました。

一般質問は9名から当面する町
政の諸問題について質問があり活
発な論議が展開されました。一般
質問に先立ち予算特別委員会で21
年度予算について審議し、最終日
委員長報告の後、採決が行われ、
すべての日程を終了しました。

人事案件

◎川本町副町長の選任につき同意
を求めるについて全員賛成
で同意した。
記
住所 篠川郡斐川町大字沖洲
氏名 嶋田慎司 氏
平成21年3月6日提出

川本町議会の議員の報酬及び費
用弁償等に関する条例の一部を改
正する条例の制定について。

右記の議案を地方自治法第112条
及び会議規則第13条の規定により
提出します。

川本町財政非常事態回避期間に
引き続き、平成19年度から「財政
再建・自立に向けた元年」が継続
中であるが、依然として続く厳し
い財政状況を改善する為、そして
町民と共に協働して行政改革推進
を図るために、主導的責任のある
議会としても、自らの歳費である
議員報酬の削減を提案した。

その内容は、議員報酬の月額報
酬について、平成20年度末迄とし
ていた20%カットを平成21年度末
迄継続する。

議員発議（条例制定）

川本町議会
議長 濑上 康浩
平成21年3月6日可決

賛成者 川本町議会議員
提出者 川本町議会議員
瀬尻亨
平成21年3月6日提出

国民健康保険事業の運営について。

左田野健康福祉課長＝様々な工夫により医療費の削減に繋げていく。



青木議員

医療費が依然として高い水準で推移している。21年度は一般会計から2千万円繰入れる。個人医療費が18

年以降県内1～2位で推移している。

この現状を町民に周知する必要がある。期間を定めた万歩計による報奨制度、年2回の健康グランドゴルフ大会の実施を提案したい。

左田野健康福祉課長

医療費は前年度と比較しても伸び

地域資源について、施政方針に基づいて具体策を問う。

鉢政策推進課長＝21年度中には資料を示す。

鉢政策推進課長

97年に京都議定書が作成され、98年に地方公共団体の責務も定められた。川本町も「川本町地域エネルギー策定ビジョン」を作成し、温室内効果ガスの排出の規制を求めている。そうした中で木質バイオエネルギーの利用、また循環型地域エネルギー（資源）の活用方法として弥山荘、温水プールも視野に入れて検討している。21年度内には具体的な資料をもとに説明する。

圓山議員



地域資源の活用について町長の施政方針に基づいて具体策を12月議会の後追質問として重ねて問う。

その他の質問

- 不在地主の問題が醸しだす地域利便性の障害。

の減収となる。

予算も要らず出来る事は旧朝日中学校の跡地を宅地として限定5とか10とかで町内外に関わらず無料提供し、U-Iターンをお願いすべきだ。都会の人人に人気の高い農地をセットにすれば休耕田の活用にもなるし、一軒当たり4人家族とすれば町民税・固定資産税が約20万円の税収となる。

実施すれば全国初となり新聞・テレビなどに報道され、PR効果は絶大であるので多数の応募があると思う。

議会と議論すればおのずと一定の方向が見えると思う。

中央高校存続運動が必要ではないか。

樋口町長＝より良い支援策を検討する。



片岡議員

2年前に島根中央高校が4クラスの学校としてスタートしたが、初年度から定員割れとなり、次年度には早くも3クラスの募集になつた。さ

らに、今年度は定員の72%という状況である。このような状況では、ここの数年のうちに矢上高校との統合問題が出てくると思われる。川本高校が閉校となり、人口が減少を続ける中、島根中央高校存続のために運動を開拓していく必要があると思う。町の対応と対策を聞く。

樋口町長

県教育委員会では、2009年から10年間の高校再編計画が立てられ、普通科高校は1学年2学級の定員が2年連続で3%を下回ることが想定される場合、統合の対象となる。島根中央高校をこれまでも物心両面で支援してきているが、町民の皆様と一緒に、より効果的な支援を検討していく。

河田議員



現在人口は、3千979人で10年前は4千883人で減少が著しい。このまま推移すると10年後は3千75人と予想され、交付税は1人当たり18万9千130円なので1億7千万円

樋口町長

・町長の施政方針について問う。
・教育方針について問う。



小宮議員

自主財源の乏しい当町にとつて今後道路整備事業を進めていくのか。

一、主要地方道川本波多線
一般県道川本大家線

一、谷地区・日向地区・谷戸地区

の治水対策について問う。

国や県の情報を早くキャッチし優先順位を色々な角度から検討し実行すべきと考えるが。

樋口町長

諸問題については十分理解していきたい。早期に実施できる道筋をつける様働きかけていきたい。

小宮議員

一、学校統合問題と高校再編について問う。

早い段階で協議会を立ち上げ、協議を進めたい。

高校再編問題は町民全体で取り組む必要があると思う。

坂根教育長

北公民館の存続を求める陳情。

傍聴感想文

住 所 川本町川本
氏 名 樋原 清史

本日は初めての議会傍聴でした。議会最終日という事もありまして、肅々と議事進行が行われました。

ようございました。

多くの議案が上程されました
が、反対議論が一度あつただけの寂しいものでした。
しかし新副町長への同意とその後の挨拶を拝聴できたのでそれが収穫でした。



熱心に聴きいる傍聴者の皆様

請願・陳情

受付番号・年月日	陳情の要旨	陳情者の住所及び氏名	紹介議員氏名	付託委員会	採択・継続
第1号 21.1.26	北公民館の存続を求める陳情。	邑智郡川本町大字三原 三原連合自治会 三原連合自治会長 親和自治会長 田舎自治会長 三原自治会長	下山 垣下 佐々木 鶴 白 鷺 賢秀 治幸 勉泰 和 泰	飯田 武則 総務教民常任委員会	採 択
第2号 21.2.9	公共事業の確保を求める陳情。	邑智郡川本町大字川本 川本町建設業協会 会長	山口 嘉夫	産建町民常任委員会	採 択
第6号 20.9.5	「国の社会保障費削減方針撤回」の意見書採択を求める陳情。	島根県松江市大正町 442-6 今岡ビル 3F 島根県社会保障推進協議会 会長	池渕 栄助	総務教民常任委員会	継 続
第7号 20.9.5	「協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書」の提出を求める陳情。	島根県松江市御手船町 557 番地 7 島根県労働者福祉協議会 会長	大崎 康弘	産建町民常任委員会	継 続
第8号 20.12.1	森林組合の育成と森林整備事業量確保を求める陳情。	島根県邑智郡川本町大字因原 邑智郡森組合 代表理事組合長	森橋 静秋	産建町民常任委員会	趣旨採択
第9号 20.12.2	平成21年度各市町農林施策及び予算に関する陳情。	島根県邑智郡邑南町 島根おおち農業協同組合 代表理事組合長 島根おおち農政会議協議会 会長 島根おおち園芸振興協議会 会長 島根おおち肉用牛改良組合協議会 会長	右山 森溝 中原 口 周康忠定 作樹良信	産建町民常任委員会	趣旨採択
第10号 20.12.3	WTO農業交渉に関する陳情。	島根県邑智郡邑南町 島根おおち農業協同組合 代表理事組合長 島根おおち農政会議 会長	右山 田中 周康 作樹	産建町民常任委員会	趣旨採択

編集後記

花曇りか黄砂曇りか解らない日々が続いております。今年は殊の外花粉の飛散量が多いそうで、花粉症で苦しまれる皆様には心よりお見舞い申し上げます。
さて、今議会より一般質問の形態が変わり、1時間以内なら何度も質問できる形になり、より活発な討議ができるようになります。でも質問できる形になりました。乞うご期待です。

3月4日、川本高校の閉校式が行われました。卒業生や町民の皆様にとって感慨深い日になりました。85年に亘る川本高校の歴史が1万2千849号の卒業生をもって幕を閉じました。県内外に多くの人材を輩出した伝統は校旗と共に受け継がれました。島根中央高校がいつまでも川本町に存続するように町民の皆様と共に決意を新たにし、がんばっていきましょう。



平成21年度（3月定例議会）

町長施政方針

町政運営の基本的な考え方及び、その施策の方針並びに平成21年度の主要な事業について申し上げます。

先ず「町政運営の基本姿勢」についてあります。

これまで、あらゆる分野での情報公開を進め、町政の透明度を高めることにより、「町民の意見が反映される」町政の推進に取り組んでまいりました。今後とも町民の方々が、様々な形で「参加・協力・関わり」のもてる協働の町を目指したいと考えております。

これからも常に、「行財政改革の継続と、財政の健全化」に努め、集中改革プランを中心にはさらなる行財政改革の推進に取り組んでいく決意をしておりまます。儉約、節約から出発した不斷の努力の積み重ねと、現状を見直し、改革を継続し続ける強い意思が必要であると考えております。

また、財政の健全化のため、行財政改革を進めることは当然ですが、歳出削減のままでは、町民の皆さんの暮らしや事業活動に影響を及ぼします。町の安定的財政運営に必要な地方交付税などの一般財源の充実確保を、県町村会や県関係者、県会議員、国会議員の方々とともに、個々の事業の交付金の確保と合わせて声を大にして、引き続き要望していくます。

◆平成21年度の重点施策◆

▽キープ4000プロジェクト人口4,000人確保
平成19・20年度の2カ年にわたり島根県から助成を受けた中山間地域リーディング事業、「かわもと『夢と元気』創造プロジェクト」は、4本の柱を設定して事業の推進を図つてまいりました。

この2年間、リーディング事業を通して本町が抱えている課題の解決に努めてまいりましたが、解決できたもの、できなかつたものがあります。こうした中、これまで本プロジェクトでの検討や取り組みを活かし、人口4,000人の確保・維持、地域の活性化・安心安全に暮らせるまちづくりを目指す「Keep 4000 Project」（人口4,000人確保）に取り組んでまいりたいと考えております。

▽第3次行財政改革大綱策定

これまで平成9年度に第1次行財政改革大綱を策定し、17年度には最小の経費で最大の効果を上げるという自治体経営の理念に立ち、5年間を実施計画とした第2次行財政改革大綱「川本町行財政改革に関する集中改革プラン」を策定しました。21年度はこの第2次行財政改革大綱の最終年度であり、計画達成を確認するとともに達成出来ていらない課題を把握します。

これまでの計画を検証し、新しい視点に立って自立性・自主性の發揮できる活力ある行財政運営を推進していくための第3次行財政改革大綱の策定を住民の皆さんと進めてまいります。

また、平成12年度に制定された過疎地域自立促進計画につきましても22年度が期限の切れる年度となります。島根県では18年度に島根県過疎・中山間地域対策研究会を立ち上げ、過疎地域が特色あ

る発展を図るために必要となる対策の基本的な方向性を総合的に取りまとめた「魅力ある中山間地域の実現へ向けて—ポスト過疎法への提言—」を公表し、重点要望活動を通じて国等に対し説明しています。

本町では、県の動きと連動してポスト過疎法を見据えた計画策定を進めてまいりたいと考えております。

▽福祉事務所設置

川本町と美郷町の福祉事務所の設置により、島根県は全国で初めて県が設置する福祉事務所がなくなることになります。住民に一番近いところで福祉を推進していくことになりますので、住民目線を大切にして、安心して生活できる川本町を目指していきたいと考えております。

▽一般旅券の発給に関する事務

一般旅券（パスポート）の発給等の事務につきましては、現在、島根県が行っているところですが、本年10月からは、役場窓口で受け付けることになります。これは窓口で申請・交付を行うことによる旅券発給のワンストップサービスの実施、及び町の窓口で本人確認を行うため「なりすまし」による不正取得の防止等、住民の利便性と安全性を図ることができます。

また、事務が委譲されると川本町役場の窓口以外での申請・交付が受けられないなど、いろいろな制約も発生しますので、住民の皆さんへ制度等の周知を行い適切な対応に努めたいと考えております。

▽学校教育

昨年の12月定例議会で示しました、川本町としても学校統合問題について検討する組織を立ち上げる

方針のもと、教育環境の改善については関係者の意見を充分聞きながら進めてまいります。

▽高校支援

川本高校は、大正13年4月に島根県立川本農蚕学校として開校し、以来平成20年度の卒業生をもつて85年間の歴史を閉じることとなりました。

高校支援につきましては、これまで県立高等学校の再編に伴い川本町として独自の高校支援を行つてまいりましたが、川本高校及び邑智高校の閉校に伴い、改めて高校支援の内容や関わり方について、関係機関や関係者とともに検討してまいります。

◆平成21年度の主要事業◆

▽川本町総合防災訓練・総務課

昨年、川本町で初めて、集中豪雨による土砂災害を想定した住民参加による避難訓練を実施致しました。

本年は、全国統一防災訓練が6月7日に計画されています。川本町でもこの統一実施日に併せて訓練を実施することにしております。

▽元気な地域づくり支援事業・政策推進課

20年度は弓市7自治会連携・矢谷自治会・因原自治会を事業採択し、それぞれの自治会で事業を開催されました。事業を実施した中で、成果、反省点も様々見えてきました。こうした点を踏まえ、2年目に向け、地域の皆さんのが元気で頑張つていただき、地域の課題解決そして魅力ある地域づくりを目指していただけるよう支援を進めてまいります。

▽地域新エネルギーの活用・政策推進課

平成19年度に、川本町地域新エネルギービジョン

の策定に取り組みました。化石燃料に代わるエネルギーや地球温暖化の要因とされる二酸化炭素の排出量を減少させることは世界共通の課題であり、本町の木質バイオマスの有効な活用に視点をおき、森林組合や関係民間企業との連携により、産業創出や雇用機会の確保を意識した地域循環型エネルギーシステムの構築を目指します。

▽遊休農地対策・産業振興課

耕作放棄地は全国的に増加傾向にあり、耕作利用率は年々落ち込んでいる状況にあります。食料供給力強化のための農地確保、また、一度荒廃した農地は利用困難であること、病害虫の繁殖及び鳥獣被害の拡大の原因になるなど、耕作放棄地の解消は国及び地域にとっても喫緊の課題となつております。本町においても、20年度に行つた耕作放棄地の全体調査の結果や水稻営農計画書等の作付情報を農地地図情報システムにより一元管理し、農地の有効利用を図ることにしております。

▽21年産水稻の作付面積及び水田農業の推進・産業振興課

国で決定された「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」において、平成21年産米の全国の需要量が815万トン、島根県における需要量が98,050トンと、いずれも20年産と同量と示されました。

▽有害鳥獣対策・産業振興課

川本町においても同量の850トンが配分されております。これを基に作付意向調査を行い、集落の需給調整推進委員の皆様のご協力をいただきながら島根おおち管内で調整した結果、21年産の水稻作付面積は178・9ヘクタールとなり、前年並みの作付面積の確保がなされたところであります。

▽中山間地域等直接支払制度・産業振興課

平成17年度から始まった2期対策は、21年度が最終年度となります。本制度は農地保全や多面的機能の維持、集落の活性化に大きな役割を果たしていますが、中山間地域では過疎化・高齢化が進行しておりますが、小規模高齢化集落の増加が懸念されるなど、依然として厳しい現状にあります。22年度以降も本制度が継続され、永続的な制度となるよう、県や各市町村とともに国に対しても要望活動を行つてまいります。

して誘引物を除去し、効果的な対策を講じることによつて鳥獣が近づきにくい環境づくりを進めるとともに、関係機関と連携して、追い払い・防護・駆除にあわせて獣害に強い営農活動を普及していくます。また、動物を使った追い払い、緩衝帯の設置など、有利な補助制度や島根県の事業を活用しながら検討していくこととしております。

▽道路整備・地域整備課

平成21年度を初年度として7カ年で実施計画をしております町道中倉日向線道路改良工事（交付金事業）、工事計画延長690m・幅員4mにつきましては、初年度として全体測量設計業務を予定しております。当路線の改良により町内唯一の行き止まり路線の災害時などに於ける集落孤立が解消され、安心安全な生活環境整備が図られることが期待いたします。

主要地方道川本波多線 川本東大橋～木路原間の現道嵩上げ改良工事（交付金事業）につきましては、平成19・20年度の継続工事として行われ、2月末完成しました。引き続き上新町～川本東大橋間の嵩上げ改良工事も21年度から2カ年での実施を予定されており、9月からの着工となります。期間中は片側交互通行の規制となります。ご協力をお願いいたします。

弓市中心部歩道整備に伴います県道部分の改良工事（交付金事業）につきまして、21年度は中央駐車場前交差点付近の歩道整備に併せ主要地方道仁摩邑南線中央駐車場～川本小学校間の用地取得及び家屋移転補償が実施予定となつております。

一般県道川本大家線谷戸イズモコバイモ群生地付近カーブ改良工事（交付金事業）につきまして、21年度は用地取得及び2戸の家屋移転補償を行い、一部改良工事も実施予定となつております。また、

同路線三俣～湯谷間の待避所整備工事につきましては、新規箇所延長220mが引き続き実施予定となりました。

主要地方道川本波多線川本バイパス計画につきましては、川本・邑智両高校統合の重要路線でもあり、21年度は川本～竹間の事業効果調査・測量設計（県単事業）が実施予定であり、引き続き計画的に改良工事（交付金事業）も予定されております。

また、落石など安全対策としての災害防除工事（交付金事業）として、主要地方道仁摩邑南線長原地内延長400mの落石防止網・吹付け法枠工が、また主要

地方道川本波多線 川本大橋橋梁補強工事（交付金事業）、同路線木路原今津地内堀川橋の橋梁補強工事（交付金事業）がそれぞれ実施予定となつております。

県営林道川本布施線改良工事につきましては、川本町分として瑞穂布施境までの開設を受け、21年度において残り舗装工事236mを完成します。引き続き21年度は町道細平大槻谷線分岐より芋畑集落へ向け、開設延長200m・幅員5mが実施予定となります。

また、21年度からの新規事業として、県営大邑3期地区広域農道長谷工区（10%負担）、工事延長930m・幅員7mが24年度までの4年間で実施されることとなり、初年度は全体測量調査設計が行われることになりました。

▽砂防・治山・地すべり事業・地域整備課

市井原全長寺谷地区 砂防事業につきましては、3年目となります平成21年度には流路工の整備を行います。弓市内完成の予定となりました。

県営治山事業につきましては三俣神社裏山一体を林地荒廃防止事業として施工中であり、1月末補正予算により落石防護柵工延長103mが繰越事業と

して発注され、引き続き21年度事業として同じく落石防護柵工延長50mの実施によりすべて完成予定となつております。

県営地すべり対策事業であります、引き続き川本地区として絵堂・莊嚴寺・上組北の3地域を施工予定であります。

▽治水対策・地域整備課

尾原地区の堤防工事につきましては、最終年度として下流堤防のすり付け及び国道261号の付け替えが予定されています。

因原地区の内水排除対策につきましては、18年災害による国土交通省の天王寺川釜場設置に伴い、21年度は島根県により仏谷川に排水ポンプ・車用釜場設置工事が実施されることとなりました。引き続き、天王寺川同様圧送管敷設整備も早期に実施して頂けるよう要望してまいります。

▽介護保険事業・健康福祉課

平成21年度から3年間の第4期の事業計画をこの度策定しました。

この計画の中では、現在の計画をベースとしながらも、療養病床からの転換や小規模多機能施設の整備等も考慮したものとなつております。介護報酬についても、全国平均で3%程度の増額が図られますので、それらも考慮し給付費等を積算し計画に取り込みました。

その結果、介護保険料については、基準月額で現行の4,900円から50円引き下げ、4,850円となります。

また、納付世帯の状況等を考慮し、介護保険料の区分を、現行の6段階制から8段階制にし、より生活の実態に即した納付をお願いしていくこととしました。

▽国民健康保険事業・健康福祉課

国民健康保険の医療費については、依然として高い状況が続き大変厳しい財政状況となつております。このままでは、基金も枯渇することが予想され、21年度は一般会計から財源不足として2千万円の繰り入れを行い予算編成したところであります。20年度から始まつた特定健診については、後期高齢者の方が抜けたとはいへ、受診率が36・4%にとどまり、特定保健指導の参加率については、46・9%となつております。住民の皆様方に健康な生活を送つて頂くためにも、医療費の内容などを十分に分析・検討し、対策を講じて行くことが必要不可欠と考えております。各種健診につきましても受診勧奨などを行い、受診率の向上を図つてまいりと考えておりまますし、保健指導なども積極的に行うこととしております。これらの取り組みにより、医療費の削減につなげていきたいと考えております。

▽母子保健の推進・健康福祉課

母子保健診査につきましては、これまで5回分については無料で受診できるよう助成してきましたが、妊婦が健診費用の心配をせずに、必要な回数の妊婦健診が受診できるようとの国の考えに、本町としても呼応し、助成回数を増加することとし、最大14回までとすることとしました。これにより、経済的負担の軽減は勿論、母胎や胎児の健康確保につながるものと考えております。

新生児聴力検査につきましては、これまで自費で実施されてきた、新生児聴力検査について、全額公費負担することとしました。新生児聴力検査とは、生後間もない赤ちゃんの聴覚を、専用の機器を使って検査し、異常がある場合早期に発見しようとするものです。

▽公立邑智病院・健康福祉課

病床利用率について、1月以降80%を超える日もあり、年度の累計が約70%になるなど3年ぶりに高い利用率となつております。救急告示病院としての機能を維持していくためにも、関係機関の協力を得て、常勤医師の安定的確保に努めてまいりたいと考えております。看護師については、昨年度は7名を雇用し今年度も4名の採用を予定しております。しかし助産師については依然として不足しており、引き続き募集をしております。

▽町税等の収納率の向上・住民課

町税等の徴収率の向上につきましては、年々徴税率の滞納が増加している中、税の公平・公正のために長期滞納蓄積されている世帯には、引き続き差し押さえの実施、島根県への徴収引継ぎ等積極的に対応し、4月から施行されます「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」による取り組みの実施により、前年度の徴収率を上回るよう努力してまいりと考えております。

▽町民税の年金特別徴収の実施・住民課

これまで町民税の納付については、納付書や口座振替の方法、事業所等の場合は給与からの引き取りによる納付となつておりますが、65歳以上の方について、平成21年10月に支給される年金から天引きにより納付していく制度（特別徴収）が新しく設けられました。

公的年金からの特別徴収は、公的年金所得に係る税額のみ行うこととなつております。今後とも、納付方法等混乱のないよう、制度の周知等の適切な対応に努めてまいりたいと考えております。

▽町営住宅・住民課

消防法の改正により一般住宅にも警報器の設置が義務化されたことに伴い、町営住宅も火災警報器設置を平成19年度から順次取り付けを行つているところであります。21年度は、八幡平団地・谷戸団地の76戸に取り付ける予定としております。

改良住宅川本団地の地上権契約については、21年度は契約が満了となります6棟について契約の更新を行いたいと考えております。

▽環境衛生・住民課

本町のゴミは、ここ数年減少化傾向にあるものの、引き続きゴミ減量化装置の推進、堆肥化、エコバッグの普及など、減量化に努めてまいります。また、4月から尾原地区で実施されますEM菌をつかった野菜くず等の生ゴミの堆肥化の推進により、一層の減量化に取り組んでまいります。

▽地籍調査事業・住民課

地籍調査事業につきましては、平成20年度末での調査面積は、88・87平方キロメートルで、調査計画面積に対して進捗率は96・54%となつております。

21年度の事業計画は、昨年からの継続分に加え、最後の調査地区となります下因原3・18平方キロメートルを調査の予定としております。事業の早期完了に向けて、関係者のご協力をいただき事業の推進を図つてまいります。





特定健診・特定保健指導で

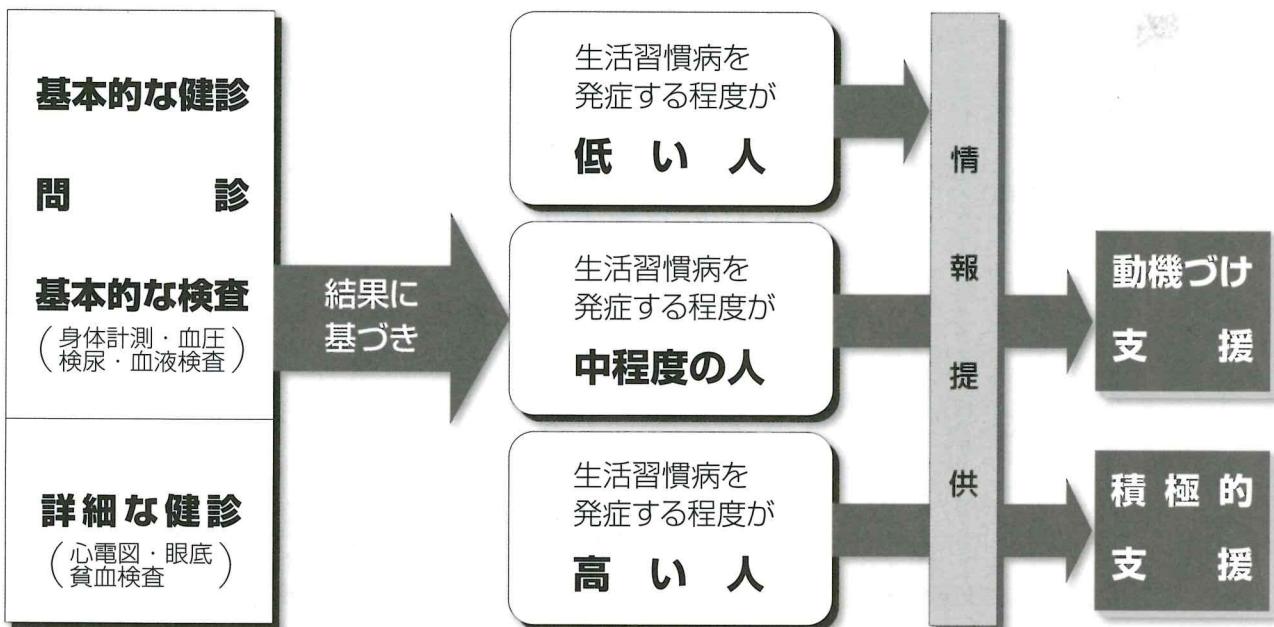
メタボリックシンドロームを予防

—年1回の健診を必ず受けましょう—

生活習慣病は、不健康な生活習慣を改善しないまま放置することによって引き起こされます。現在、川本町の死因の約5割を生活習慣病が占める深刻な状況となっています。

特に糖尿病は、平成20年5月診療分の国民健康保険の一人あたりの医療費が島根県で1位であり、発症のリスクを早期に発見する特定健診が重要です。

■特定健診・特定保健指導の流れ



■平成21年度特定健診の日程

開催日	対象地区	場所
6月 4日（木）	南佐木・田窪・三原・親和	北公民館
6月 5日（金）	因原・日向・西・八幡	西公民館
7月23日（木）	日の出・上新・中新・下新・元町・本町・天神町・木路原・久座仁・多田・双葉・三大字	すこやかセンター
7月24日（金）午前	谷・市井原・長原・矢谷・芋畑・中倉	朝霧館
7月24日（金）午後	三島・谷戸・笹畑・三俣・湯谷	川本公園管理棟

【対象者】

平成21年4月1日現在、国民健康保険の加入者で平成21年度内に40～74歳になる人

※申し込みをまだしておられない方は、川本町役場健康福祉課までご提出ください。

特定健診・特定保健指導

Q&A

ここが疑問

Q1. 会社員の妻など被扶養者（家族）は受けられるのですか。

A1. 会社の健保組合や共済組合など各医療保険者が指定する健診機関で受診してください。

町内の健診を希望される方は、事前に健康福祉課までご連絡ください。

Q2. 75歳以上の健診はどのように行われますか

A2. 8月から町内の医療機関で実施します。後日、受診券を送付いたします。

Q3. 特定健診を受けないと保険税（料）が上がると聞きましたが、本当ですか。

A3. 特定健診、特定保健指導の受診率などを評価し、目標が達成されなければ後期高齢者医療支援金の負担が増えます。その結果、加入者の保険税（料）が増額される可能性もあります。

川本町の目標値



川本町の特定健康診査等実施計画では、平成24年度の到達目標を下記のとおり定めています。

※特定健診の受診率

65%

※特定保健指導の実施率

45%

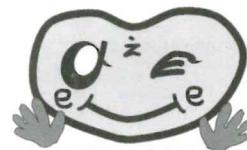
※メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の減少率

10%

しかし現状は……



- 平成20年度の特定健診受診率36.4%
- 平成21年度の受診率の目標は、50%です。



「川本町健康づくりキャラクター」

平成20年度特定保健指導の実施率は、46.9%で目標達成!!



- 参加された方全員の腹団が減少し、生活習慣の改善が図られました。

平成21年度はより魅力ある特定健診に！



- ①骨粗鬆症検診とセット（6月4日・7月23日）
- ②胃がん検診とセット（6月5日・7月24日 朝霧館）
- ③糖尿病対策として、平成20年度の特定健診において要指導者と定期的に眼底検査をしていない要医療者に眼底検査と管理栄養士による栄養指導を実施します。

まちの話題

福祉事務所の開設

川本町では県から権限委譲を受けて、福祉事務所を設置しました。4月1日には役場健康福祉課前で開所式を行いました。

これまで、県で行っていた生活保護の認定等をこれからは町の福祉事務所で行うことが出来ます。

※新たに町で取り扱う事務

- ・生活保護の認定
- ・保護費の支給等
- ・児童扶養手当等の支給事務等
- ・母子家庭等

手編みの座布団 頂きました



悠湯プラザ（介護予防拠点施設）生きがい活動サークルで活動されている「ゆりの会」の会員の皆さん、3月16日に川本駅待合室に座布団を寄贈されました。会員の皆さんのお心温まるご厚意に感謝して、みんなで大事に使いましょう。



序幕をする樋口町長（開所式にて）

【問い合わせ】
川本町福祉事務所 ☎ 72-0633



全国エゴマの会

第9回 全国エゴマサミット inかわもと2009

平成21年
6月 20日(土) 13:00
21日(日) 9:00

会場
内容

悠邑ふるさと会館
島根県邑智郡川本町大字川本
3332-15

講演
秋山豊寛

講演
(元宇宙飛行士・元TBS社員)
橋本道男 准教授

講演
(島根大学医学部)
奥山治美 教授

(金城学院大学)
シンポジウム・エゴマ料理昼
食会・懇談会などを予定

入場料

1,000円（講演のみ）、他

■お問い合わせ

全国エゴマサミットinかわもと
実行委員会（川本町役場内）
☎ 0855-72-0636

図書館

いはお顔のひろば～ミニ読書会～ 散歩にでかけよう！

ぽかぽか陽気に誘われて、親子で散歩をしませんか。川本の自然とふれあって、友だちの輪を広げましょう。

日 時：5月1日(金) 9:30～11:30

場 所：川本保育所～江の川堤防

内 容：散歩、読み聞かせ

持参品：帽子、お茶

対 象：在宅保育の親子

要申込：4月27日(月)締切

問合せ：子育て支援センター ☎72-0170
かわもと図書館 ☎72-0025



がっくん だより

No. 144

4月23日は川本町読書の日

テレビを消して、家族で本を読んだり、語り合う時間をもちましょう。

川本町読書の日「おすすめの本」展示貸出

期 間 4月18日～5月10日

新刊案内

《児童向き》

ぎょうれつのできるすうふやさん ふくざわゆみこ作
『もりいちばんのおともだち』などを書いた、みんなが大好きな絵本作家の最新作です。 (ポプラ社)

子どもに語る中国の昔話 松瀬七織訳 湯沢朱実再話
中国の三大昔話、「トラ女」「牛のシラミいっぴき」「へビのおむこさん」など、18話収録。 (こぐま社)

魔使いの戦い 上下

ジョセフ・ディレイニー著 金原瑞人訳
魔使いの弟子トムの成長と冒険を描く人気シリーズ
第4弾。 (東京創元社)

《一般向き》

家庭医学大事典

小学館・ホームメディカ編集委員会編集
病気の原因、症状、検査、受診する科、医師が行う治療法、養生法、予防法を具体的に解説。貸出不可。
(小学館)

平成の名水百選 日本の水をきれいにする会編集
水質や水量、周辺の環境、保全活動など、特徴やPRポイントなどの評価軸に基づいて選定された名水百選を紹介。
(ぎょうせい)

パパママムスメの10日間 五十嵐貴久著
『パパとムスメの7日間』の続編。ドラマになった全作の続編は、入れ替わったパパと小梅が、無事にもどに戻ってから2年が過ぎたところから始まります。今度は、パパとママと小梅の心が入れ替わることに！
(毎日新聞社)

図書館まつり

内 容

開催日

5月9日(土)

■10:00～10:30

お話し会 大型絵本、パネルシアター（大会議室）
幼児から小学生までが楽しめるおはなし会です。

■10:00～12:00

大人向け ビデオシアター（マルチホール）
上映作品「私の頭の中の消しゴム」

■10:30～12:00 リサイクル工作教室（大会議室）

■10:00～15:00 古本市（エントランスロビー）
図書館で廃棄した雑誌や本、皆さんのが持ち寄られた本を無料でお持ち帰りいただけます。

古本市に本を出しませんか

ご家庭に眠っている本を、新しい読者に無料で提供してください。

ただし、次の点にご配慮いただきますよう、お願い致します。

☆収集期間・場所：平成21年5月8日(金)まで

かわもと図書館へ持ってきて下さい。

☆次のような本は、収集対象外です

- ・汚損（日に焼けている物も含む）、破損（紙の劣化も含む）している本
- ・学習事典など、内容が時代に合わない本
- ・線を引いたり、書き込みをしている本

☆出品後の取り扱いについて

・残った本は、他機関での利用またはリサイクルに出しますのでご了承ください。

お父さんの料理教室から食育絵本の寄贈

農林水産省提唱「地域に根ざした食育コンクール」優秀賞を受賞された、お父さんの料理教室から、副賞の『そだててあそぼう』シリーズ80冊をご寄贈いただきました。

小中学校や家庭での食育活動に役立てていきます。ありがとうございました。

展示貸出：4月1日(水)～5月10日(日)

情報 交差点

KAWAMOTO INFORMATION

川本町役場退職者

3月31日付で次の職員が退職しました。

▽ 尾崎 順和（副町長）
▽ 山口 孝昭（住民課）

永きにわたりありがとうございました。

新副町長就任

4月1日付けで新副町長が就任しました。



よろしくお願いします！

副町長
嶋田 慎司

【問い合わせ】 健康福祉課

☎ 72-0633

三原地区農業集落排水処理 使用料金の改訂について

平成14年5月に供用開始して以

来、7年が経過し使用料金についてこれまで据え置いて居ましたが、施設の独立採算性と維持管理の健全化を図るため、平成21年6月1日から次のとおり改訂することとなりました。

一般家庭基本料	1,960円
世帯員1人あたり	650円
事業所(1人)	4,590円
事業所(11人)	6,560円
事業所(21人)	13,120円
事業所(41人)	26,250円
事業所(61人)	52,500円

【問い合わせ】 地域整備課上下水道係

☎ 72-0637

運転免許証返納者の皆さんへ

川本町で安心して子育てをして頂くため、町では乳幼児医療の単独助成を見直しました。

△ 基本的に医療機関の窓口負担はありませんが、医療費負担があつた場合は役場窓口で払い戻しをします。

※ 健康保険適用医療費のみ対象
※ 県外医療機関での診療、治療用装具の購入等についても一旦お支払い後に役場窓口での払い戻しとなります。

- ▽ 割引額
- ▽ 対象者
- ▽ 開始日
- 平成21年4月より
運転経歴証明書を提示された65歳以上の方
普通旅客運賃の半額

※現金、バスカード、回数券での支払のみ対象。他の割引との重複不可。

【問い合わせ】 路線

※東京、大阪、広島、萩線は対象外

【問い合わせ】 しまね版特区申請受付

☎ 0856-24-10076

幹部自衛官募集

しまね版特区は、地域で取り組もうとしている事業が、様々な規制により実施が困難なときに、規制の特例措置を設けることによってその実現をはかる制度です。

【問い合わせ】 受付期間

4月10日～5月21日
☎ 0852-22-6453

【問い合わせ】 応募資格

一般、海上技術、歯科、薬剤科のコースから各自衛隊の幹部自衛官となる者を養成する制度です。

【問い合わせ】 受付期間

4月1日～5月12日
☎ 0852-22-6453

【問い合わせ】 採用試験

平成22年4月1日現在で20歳以上26歳未満の者。大学院修士学位取得者は28歳未満の者

【問い合わせ】 合格発表

6月5日（金）
ち指定される1日

【問い合わせ】 問い合わせ・申込

川本町社会福祉協議会
開講式 健康づくり講演会

【問い合わせ】 自衛隊島根地方協力本部

☎ 0854-82-11437

生涯学習講座 懇々大学受講生募集

年間10回の体験活動を中心とした生涯学習講座です。

▽申込締切
平成21年5月15日（金）

▽受講対象者
50歳以上の方

第1回 5月27日（水）

開講式 島根の施設見学

第2回 6月18日（木）

介護予防教室
県立美術館等の見学

第3回 7月16日（木）

粘土細工教室
県立美術館・NHK等の見学

第4回 8月20日（木）

健康づくり講演会
島根の歴史探訪

第5回 9月17日（木）

グラウンドゴルフ大会
島根の歴史探訪

第6回 10月29日（木）

スイーツ作り
島根の歴史探訪

第7回 11月19日（木）

スイーツ作り
島根の歴史探訪

第8回 12月19日（土）

子どもと一緒に門松づくり
そば打ち教室

第9回 1月21日（木）

子どもと一緒に門松づくり
そば打ち教室

第10回 2月18日（木）

開講式 健康づくり講演会

【問い合わせ】 川本町教育委員会

☎ 7272-10104
7272-10594

くらしの情報力レンダナー

三 月

火

水

木

金

土

4/26

4/27

4/28

4/29

4/30

1

2

3

4

5

■ひだまりサロン(社協)

■町内保育所育了式

■ミニ講書会
(11頁に連記事)

■資源物・不燃物收集
(因原・三大字・多田・久座仁・
谷戸・三島・笛塚)

3

(会館・図書館休館日)

4

(会館・図書館休館日)

5

(会館・図書館休館日)

6

(会館休館日)

7

■あいさつの日
(資源物・不燃物收集
(因原を除く川本南))

8

■資源物・不燃物收集
(西・八幡・三原・田澤・南佐木・
親和・湯谷・三俣)
(11頁に連記事)

9

■図書館まつり
(11頁に連記事)

10

(会館・図書館休館日)

11

(会館・図書館休館日)

12

(会館・図書館休館日)

13

(会館・図書館休館日)

14

■こころの健康相談
(すこやかセンター)
■乳幼児健康相談
(すこやかセンター)

15

■サポセン相談日
(11頁に連記事)

17

(会館・図書館休館日)

18

(会館・図書館休館日)

19

(会館・図書館休館日)

20

●邑智郡小学校体育連盟陸上競技大会(川本中学校)
■食育の日
■健康相談
(北・西公民館、親和集会所、
役場健康福祉課)
⑤紙容器包装収集(川本北)

21

■サポセン相談日

22

■邑智郡陸上競技大会
(川本中学校)

24

(会館・図書館休館日)

25

(会館・図書館休館日)

26

(会館・図書館休館日)

27

(会館・図書館休館日)

28

■子育てのつどい
(サポートセンター)

■悠々大学
⑤ペgettボトル収集(川本北)

29

■邑智郡陸上競技大会
(川本中学校)

31

(会館・図書館休館日)

30

(会館・図書館休館日)

31

(会館・図書館休館日)

32

(会館・図書館休館日)

■阿須那診療所・天川クリニック
■ひだまりサロン

■一般行事
●学校行事関係
○休日診療情報(10:00～16:00)

■後期高齢者医療保険料
◆国民健康保険税
◆固定資産税
◆国民健康保険税
◆後期高齢者医療保険料
3月31日まで
4月30日まで
※町税は必ず納期までに納めましょう。

1

(会館・図書館休館日)

2

(会館・図書館休館日)

3

(会館・図書館休館日)

4

(会館・図書館休館日)

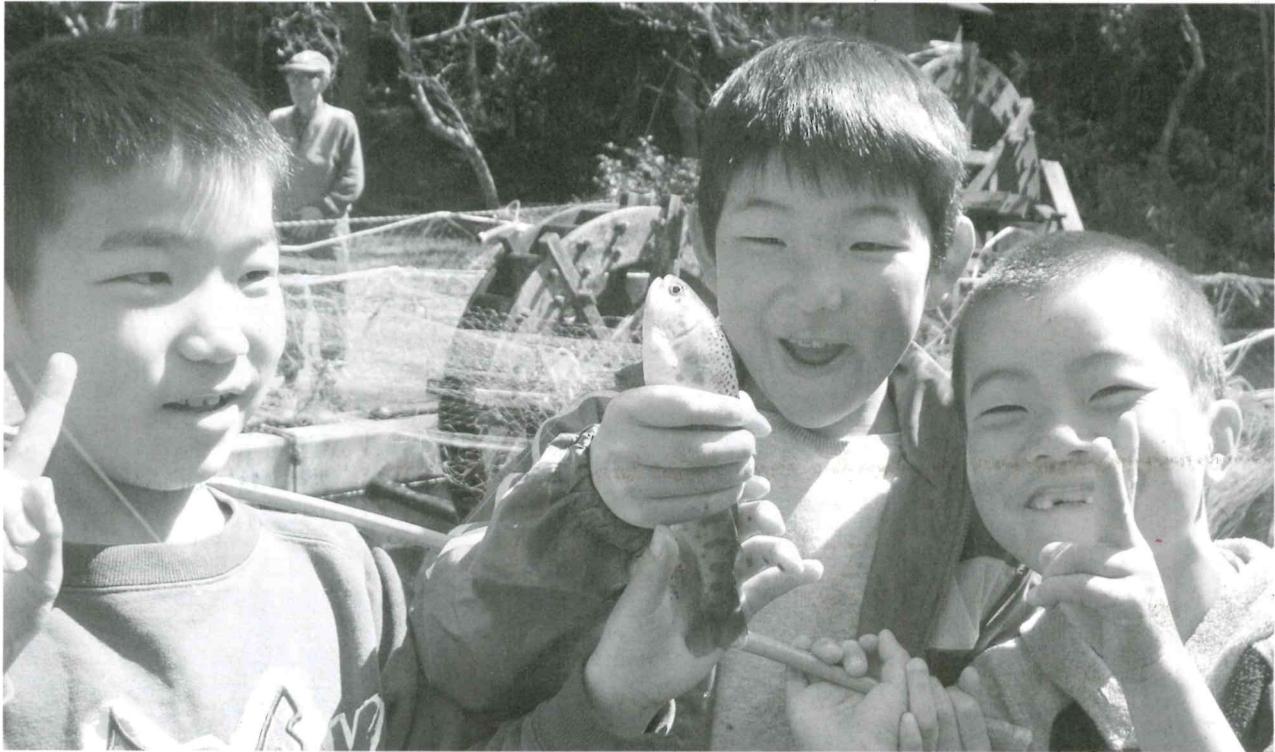
5

■一般行事
●学校行事関係
○休日診療情報(10:00～16:00)

■後期高齢者医療保険料
◆国民健康保険税
◆固定資産税
◆国民健康保険税
◆後期高齢者医療保険料
上新町・中新町・下新町・元町・本町・日の出・天神町・中倉・
谷・市井原・長原・矢谷・木路原・日向・因原・芋畑・双葉

音符と歌も歳時記

- file 90 -



春休み地域子ども教室の「釣りにチャレンジ」で、市井原の夢工房でヤマメ釣りに挑戦しました！あっちこっちへ逃げ回るヤマメを捕まえるのに必死な様子。捕まえた笑顔とは反対に、ヤマメは大変な1日だったでしょうね…

photo : 2009.3.30

目指せ人口4000人!

Kee PROJECT
4,000 insatiable challenge KAWAMOTO

川本町の人口
合計 3,938 人 男 1,857 人 (-24人) 女 2,081 人 (-17人)

増	転入 22人	出生 0人	その他 2人
減	転出 63人	死亡 2人	その他 0人

「山椒は小粒いやわらかく」と
平成20年度、川本町の人口は4,000人を切り、全国で約60番目に人口の少ない町になりました。そこで今度から、人口4,000人の復活と維持を目指す「キープ4,000プロジェクト」を立ち上げて、活気あふれる住みやすいまちづくりを目指します。全国には規模が小さくても元気で活気のある町村は沢山あります、皆様からの様々なアイデアをいただきながら人口増加につながる様々な取り組みを行っていきますので、お手伝いをお願いします。

始動 キープ4,000 プロジェクト

広告募集

広報かわもとでは、広告の掲載を行っています。

◆サイズ

- ①縦55mm×横170mm 5,000円 (町外10,000円)
- ②縦55mm×横 85mm 2,500円 (町外 5,000円)
- ③縦55mm×横 55mm 1,500円 (町外 3,000円)

◆締切：掲載希望月の前月10日まで

※川本町ホームページでも詳しい内容をご覧頂けます。

<http://www.kawamoto-town.jp/>

【申込・問い合わせ】川本町役場政策推進課 ☎ 72-0634

